

## 2008年大分トリニータ後援会事業実績報告書

### 1 概 要

大分FCに対して財政支援をするのが後援会の最終的な目的であります。親会社をもたない大分FCの財源はチケット収入とスポンサー収入であり、この2本柱を支えるために会員を増やすとともに観客増員を図り、後援会が大分FCにとって一大スポンサーとなるよう活動を展開していきます。

### 2 後援会支部の活動

2005年度には佐伯、別府、臼杵、豊後大野、玖珠・九重、大分東、大分南に、2006年度には中津江、杵築、日田、宇佐、国東に、2007年度には由布、豊後高田、竹田、大分中央に、2008年1月には津久見に支部が設立され、現在17の地方支部、2の職域支部（県庁支部、大分市役所支部）が活動している。各支部がそれぞれの特色を生かして、イベント活動等を展開し会員の増員に努めた。

### 3 観戦バスツアーの実施

#### (1) 観客増員を図るため、各支部が観戦バスツアーを実施した。

3月15日柏戦-----佐伯40名

5月10日東京ヴェルディ戦-----中津江村31名・佐伯40名

6月29日神戸戦-----宇佐40名・佐伯40名

7月12日浦和戦-----竹田21名、津久見35名

9月23日札幌戦(鹿児島)---大分東35名・大分市役所41名

本部主催(佐伯・豊後大野含)バス11台

10月18日FC東京戦---中津江村44名・佐伯40名

11月9日千葉戦-----杵築25名

11月23日鹿島戦-----玖珠・九重40名・津久見30名

宇佐40名・日田35名・佐伯40名

12月6日---中津江41名、杵築30名・豊後大野26名

#### (2) アウェー戦・ナビスコ杯応援バス・フェリー・飛行機ツアー

7月26日ガンバ大阪戦(フェリー)---50名

11月1日ナビスコ杯決勝 VS 清水(飛行機・バス)---総勢200名

#### 4 選手会とタイアップしたイベントを実施

- 1月25日 豊後大野支部総会――松橋・清水
- 1月26日 津久見支部設立総会――高橋・池田
- 1月27日 佐伯支部トリニータフェスタ in 佐伯――藤田・池田
- 1月30日 大分市役所サポーターズクラブ総会――高橋・藤田
- 3月3日 監督・選手激励会（全日空ホテル）
- 3月10日 宇佐支部総会――藤田・松橋
- 3月16日 大分中央支部おおいた街中スタンプラリー  
――小手川・清武・井上・石田
- 4月29日 高松選手1日店長(後援会×クラブトリニータ)――高松
- 5月18日 大分東支部万弘寺の市――金崎・井上
- 5月22日 竹田支部総会――松橋・市原
- 6月21日 臼杵支部3周年イベント――鈴木・下川
- 9月～12月 シュムスカ監督と語ろうポルカ語講座――シュムスカ監督
- 10月19日 玖珠・九重支部トリニータ2大タイトル奪取応援イベント――金崎・清水
- 11月16日 臼杵支部総会――鈴木・小林(亮)
- 11月24日 大分中央支部総会――深谷・藤田
- 12月13日 大分南支部餅つき大会――シュムスカ監督・藤田
- 12月21日 大分東支部総会――小手川・石田

#### 5 後援会入会活動の推進

- (1) 個人会員については、各支部のイベント、バスツアー等を通じて会員拡大を図ったが、07年3,927人から08年3,344人となり583人の減となった。
- (2) 法人会員についても07年183法人から08年108法人となり75法人の減となった。
- (3) 県外については、在京大分県人会、関西県人会、東海大分県人会、広島県人会、兵庫神戸大分県人会、京都大分県人会、福岡大分県人会、北九州大分県人会に入会依頼をおこなった。08年は111人の入会があった。